

連携提案: 障害のある子どもや家族への支援、子育て支援、インクルーシブ教育システム

キーワード: 特別支援教育

臨床・健康教育学系 教授

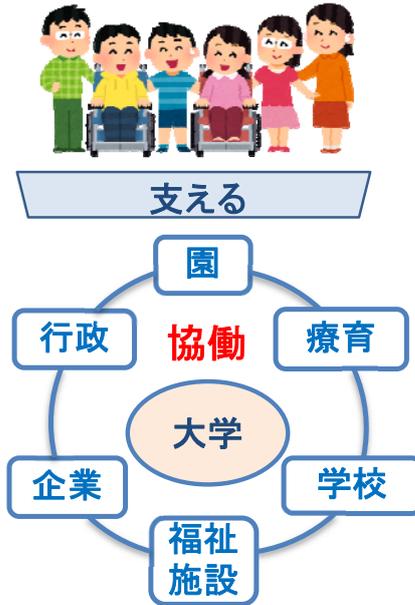
村中 智彦 MURANAKA Tomohiko

連携提案内容と効果

上越教育大学に勤めてから23年になります。応用行動分析学の立場から、知的障害や自閉症スペクトラム障害のある子どもや大人の学習・行動・生活への支援、家族への子育て支援の臨床研究に取り組んできました。

研究活動や大学院生への教育を進めながら、県内外の学校、保育園、療育機関、福祉施設との協同的な研修、コンサルテーション活動を行っています。

自治体、学校、企業と共に、地域での障害のある子どもたちや家族が安心して豊かに暮らせるための支援や仕組みづくりにつながる成果を産み出します。



アピールポイント

- 講演・研修会講師
- 支援体制への助言
- 支援機器の開発
- 新聞・放送局取材協力

連携したい分野

特別支援教育、障害者福祉、早期療育を進める自治体、学校、企業

研究テーマ: 障害者の学習、行動、生活支援



プロフィール	1971年広島県呉市生まれ。1997年から上越教育大学。2019年から学長補佐。博士(学校教育学)、学校心理士資格認定委員・編集委員、日本発達障害学会評議員・編集委員、日本行動分析学会編集委員、上越市障害支援区分等審査会委員、学校心理士SV、特別支援教育士	専門分野	障害者心理学、応用行動分析学
関連URL	http://staff.juen.ac.jp/profile/ja.850720c31a73284160392a0d922b9077.html	主な研究内容	知的障害、自閉症スペクトラム障害、情緒障害(場面かん黙等)のある子ども、大人の学習、行動、生活支援に関する研究

関連する業績等

- 『わかりやすく学べる特別支援教育と障害児の心理・行動特性:授業づくり・支援ツール、情緒障害、自閉症スペクトラム障害』(分担、北樹出版、2018)
- 『困ったからわかる、できる授業づくり』(編著、明治図書、2015)
- 『知的障害児の指導における課題遂行の促進』(溪水社、2015)
- 『学び合い、ともに伸びる授業づくり』(編著、明治図書、2013)

お問い合わせは、 村中研究室 muranaka@juen.ac.jp